

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○		○			○	○		○		○	○	○	

企業の概要

企業・団体名	株式会社メルカリ	本社所在地	東京都
業種	情報通信業	総従業員数	約1,800名
事業概要	フリマアプリ「メルカリ」の企画・開発・運用		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	ガイドライン等
テレワーク担当部署	人事部
テレワーク対象者	メルカリ国内オフィスに勤務する全社員（鹿島アントラーズを除く国内連結子会社含む）
実施者数	約1,800名
平均実施日数	月16回以上（概ね週4回以上）

テレワークの導入・拡大の経緯

- 2020年2月19日より原則在宅勤務を導入し、以降、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた時代の変化にいち早く対応し、生産性を最大化させる新しいワークスタイルの確立を目指し、「メルカリ・ニューノーマル・ワークスタイル」のトライアルを2020年7月1日より実施。この中で、画一的な形式での働き方は設定せず、個人・チームの裁量に合わせてリモート/出社の有無、および出社時間・頻度など自由に選択可能にするなど、組織の多様性に合わせた新たな働き方を検証。
- その際に、新型コロナウイルス対応方針の一環として、2020年6月よりWork From Homeガイドライン等を定め、状況に応じて随時見直しを行ってきた。
- 上記取り組みを受け、2021年9月1日より、ワークスタイルを画一的に規定するのではなく、「オフィス出社」と「リモートワーク」それぞれの利点を生かしながら、社員それぞれが最も適切なワークスタイルを選択することができる「YOUR CHOICE」への移行を決定。

テレワークの概要・特徴

【最先端ICTツールを活用した情報のオープン化とコミュニケーションの促進】

- Slack等のITコミュニケーションのためのツールを導入し、また、Google doc上で社内資料の作成・保管を行うことで、社員間のコミュニケーションを極力オープンに行い、必要なセキュリティ上の措置を取りつつも、会社全体で情報共有を図っている。
- 特に、チーム内及びチーム間のコミュニケーションを促進するために、オンライン上での1on1 meeting、チームビルディング・ランチやシャッフル・ランチを随時実施。特に、食事を伴う場合は、オンラインであっても、食費補助を行い、その積極的な実施を後押ししている。

【テレワーク下における社内文化の共有及び醸成】

- 会社のミッション・バリュー・評価方針等を定めたCulture docを作成し、社内のみならず社外にも公開し、メルカリの文化・評価制度の透明性を高める取組も行っている。

テレワーク導入の効果（経営にもたらした効果、その他効果）

- テレワーク導入による通勤時間の短縮等に加え、多様な働き方の実現へ「いつでも、どこからでも働けること」を目指し、様々な働き方のトライアル・検証を実施してきたところ、トライアルを通じて、「通勤時間の短縮」や「業務効率の向上」等、リモートワークでの勤務において多くの利点が見られた。
- また、上記トライアルを通じて、ワークスタイルを画一的に規定するのではなく、「オフィス出社」と「リモートワーク」それぞれの利点を生かしながら、社員それぞれが最も適切なワークスタイルを選択することができる「YOUR CHOICE」への移行を決定し、多様な働き方を実現。